

第5弾は

丸ごとぜんぶ調色!!

現場にありがちな「目で見て覚えよ」を実例写真で再現
この一冊で調色のポイントがわかる!

おもな内容

Part 1 調色作業

- 位置づけ
- 作業の内容
- 材料およびツール

Part 2 調色の要領

- 作業手順
- ポイントおよびテクニック

Part 3 作業実例

- 関連メーカーのインストラクターが教える調色術
- あの技この技・みんなの調色術 —自分たちの流儀—
- 技術者が熱い思いを語る

Part 4 まとめと解説

- 光と色
- 原色の特性
- 実践テクニック
- 調色作業時間と補修塗装指数

(参考資料) 钣金塗装作業標準工程

※掲載内容は編集集中のもので、実際と異なることがあります。



好評! 徹底図解シリーズ 既刊



徹底図解 丸ごとぜんぶマスキング
定価 [本体2,800円]+税



徹底図解 丸ごとぜんぶ車体の固定
定価 [本体2,800円]+税



徹底図解 丸ごとぜんぶ引き出し钣金
定価 [本体2,800円]+税



徹底図解 丸ごとぜんぶ吹き付け塗装
定価 [本体2,800円]+税

ビジュアル 徹底図解 丸ごとぜんぶ 調色 定価 [本体2,800円]+税
「月刊ボデーショップレポート」編集 A4変形判/フルカラー/136ページ

ビジュアル 徹底図解 丸ごとぜんぶ 調色!!

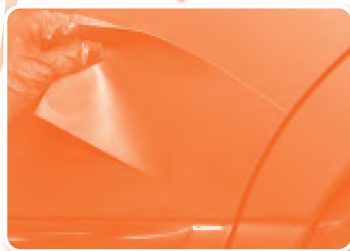
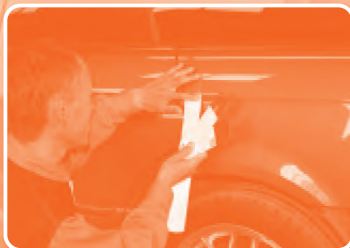
掲載内容

塗装分野は下地と上塗りに大別されるが、後者において調色は、「吹き付け塗装」(既刊)と双壁をなす重要な作業といえる。修理の目的である①外観、②機能、③強度、④耐久性の復元のなかで、何よりもカーオーナーの目にもとまりやすい外観仕上がりの品質を左右する。

調色においても技術者それぞれが培った流儀があり、また、使用する設備機器や材料、求められる仕上がりによっても微妙に方法は異なる。限りなく近い色を目指す技術者もいれば、ある程度から先はボカシなど塗装技術で対応しようとする者もいる。一方で仕事内容からは、軽補修で微調色に凝ってはコストが合わない。調色においても技術者の数だけ、作業の方法はあるとみてよい。

本書では、調色作業の流れは写真で見せることができたとしても、印刷によって微調色でどのように色が変化していくのかは表現しにくいので、測色データの数値を示して確認してもらうことにした。

写真、データ、技術者のコメントなど、自社あるいは自分に合った流儀を磨いていくためのヒントとして、それぞれの目的に応じて、参考にいただければさいわいである。
(まえがきより)



Part 1 調色作業

- 1-1 位置づけ
 - 1-1-1 ことばの意味
 - 1-1-2 調色作業に失敗すれば
 - 1-1-3 作業の位置づけ
- 1-2 作業の内容
 - 1-2-1 目的
 - 1-2-2 ポイント
 - 1-2-3 作業内容
- 1-3 材料およびツール
 - 1-3-1 塗料と関連機器
 - 1-3-2 調色ツールの種類
 - 1-3-3 調色関連周辺ツール

Part 2 調色の要領

- 2-1 作業手順
- 2-2 ポイントおよびテクニック
 - 2-2-1 カーメーカー別塗色コード
 - 2-2-2 実車カラーカード選択のポイント
 - 2-2-3 配合のポイント
 - 2-2-4 比色のポイント
 - 2-2-5 色に与える条件
 - 2-2-6 微調色の考え方

Part 3 作業実例

- 3-1 塗料メーカーのインストラクターが教える調色術
- 3-2 あの技この技・みんなの調色術—自分たちの流儀—
- 3-3 技術者が熱い思いを語る

Part 4 まとめと解説

- 4-1 光と色
 - 4-1-1 色の表示(色立体)
 - 4-1-2 色の表示(色相環)
 - 4-1-3 比色
 - 4-1-4 色の数値化
 - 4-1-5 光源
- 4-2 原色の特性
 - 4-2-1 おもな特性
 - 4-2-2 条件等色(メタメリズム)
 - 4-2-3 メタリックの方向性
 - 4-2-4 パールカラーの比色
- 4-3 実践テクニック
 - 4-3-1 色見本の選定および計量
 - 4-3-2 攪拌
 - 4-3-3 テストピースの流派
 - 4-3-4 塗装条件と仕上がり
- 4-4 調色作業時間と補修塗装指数指数

(参考資料) 鈹金塗装作業標準工程